

# 掴め君の未来を!

令和5年4月号

慶進中学校・高等学校  
進路部  
令和5年4月7日発行

入学・進級おめでとうございます。環境が変わり、「気持ちを新たに頑張ろう」と思っている人も多いと思います。1年生は、授業を大切にしつつ、平日の自主学習時間を確保し予習・復習の習慣を定着させる学習スタイルを確立しましょう。2年生は、科目数が増え、学習内容も高度になります。自分の現在の学習スタイルを検証しながら、これからどのような点に気をつけていけばよいかを考えてみましょう。3年生は、今は受験生としてのモチベーションが上がっていることだと思います。ただ、そのモチベーションを1年間継続させるためには、しっかりとした学習計画を立てて取り組む必要があります。夏休み前までの学習スケジュールを事前に考えて、それを実行しましょう。「学習計画の立て方」について、今月号で特集しています。

## 『掴め君の未来を!』について

この『掴め君の未来を!』は、慶進高校の進路部が、月に1度発行している「進学だより」です。進路部として皆さんに知っておいてほしい情報を、必要なタイミングに合わせて提供しています。掲載している主な情報は以下の通りです。

- ① 大学入試トピックス…大学入試問題の分析や大学入試動向など、大学や予備校(塾)から発表される様々な情報を紹介します。
- ② 学習や受験へのアドバイス…学年ごとに、その時期にすべき学習や受験対策について、ピンポイントで情報提供します。
- ③ 大学入試や校内選考の手続きの情報提供…様々な手続きについて、提出期限もあわせてお知らせします。基本的に3年生を対象とした情報提供ですが、1・2年生や中学生にも、近い将来に関わりのある情報ですので、しっかり理解してほしいと思います。
- ④ 進路に関する取組の紹介…進路部や各コース・学年が行った、進学関係の行事やキャリア教育の取組を紹介します。
- ⑤ 先輩の合格体験記…大学に合格した先輩方からいただいた体験記や、後輩へのメッセージを掲載しています。

以上の内容をしっかり読んで、自らの高校生活に役立ててください。また、読後は保護者の方に渡し、読んでいただけてください。

※『掴め君の未来を!』のバックナンバーを、慶進のホームページで公開しています。

## ●大学入試トピックス～2023年度共通テストの結果のまとめ～ (旺文社教育情報センターHPの記事から抜粋して作成)

- 全体…5教科6科目の加重平均点は、センター試験の開始以来、過去最低となった昨年から大幅にアップ。ただし生物は2年連続で平均点が過去最低、理科の発展科目で得点調整が実施されるなど、思考力を前面に押し出した共通テスト(以下、共テ)はまだ難易度の面で不安定だ。
- 志願・受験状況…志願者数は51.3万人で5年連続の減。ただし現役志願率は高く、45.0%で昨年に続く過去2番目。それにも関わらず志願者数が減ったのは、高3生数の減少が大きいため。受験者数(実際に受験した者の数)は47.4万人でこちらも減少傾向。
- 英語…リーディングは出題傾向に大きな変化はなかったものの、得点率53.8%で1994年(48.2%)以来の低い水準となった。しかしそれでもリーディング&リスニングの平均点合計はかなり安定しており、毎年6割前後で推移している。
- 国語…平均点は4年連続でダウン。センター試験から大きな変化がなかった共テ第1回と比べ、去年の第2回、今年の第3回は思考力を重視する出題傾向が強まっている。複数の文章を読み解いて考察する能力がカギとなる。
- 数学…数ⅠA、数ⅡBともに平均点が急降下した昨年からV字回復。これが前述の基幹3教科や5教科6科目の平均点の大幅アップにつながった。

2023年度共通テスト教科・科目別平均点(確定)				
教科名	科目名	受験者数	平均点	前年差
国語	国語	445,358	105.74	-4.52
	世界史B	78,185	58.43	-7.40
地理歴史	日本史B	137,017	59.75	+6.94
	地理B	139,012	60.46	+1.47
公民	現代社会	64,676	59.46	-1.38
	倫理	19,878	59.02	-4.27
	政治・経済	44,707	50.96	-5.81
	倫理・政経	45,578	60.59	-9.14
数学	数学Ⅰ・A	346,628	55.65	+17.69
	数学Ⅱ・B	316,728	61.48	+18.42
理科	物理基礎	17,978	28.19	-2.21
	化学基礎	95,515	29.42	+1.69
	生物基礎	119,730	24.66	+0.76
	地学基礎	43,070	35.03	-0.44
	物理	144,914	63.39	+2.67
	化学	182,224	54.01	+6.38
	生物	57,895	48.46	-0.35
英語	地学	1,659	49.85	-2.87
	リーディング	463,985	53.81	-7.99
	リスニング	461,993	62.35	+2.90

※化学と生物は、得点調整後の平均点を示している

これが前述の基幹3教科や5教科6科目の平均点の大幅アップにつながった。得点率(=平均点)は、数ⅠAがダントツで過去最低だった昨年の3割台から5割台半ばへ、数ⅡBは4割台から2001年以來の6割台へ上昇した。いずれも昨年と比べて問題文の量は増加したが、それでも計算量が減ったり、誘導が丁寧だったり、易しめの問題が増えたりして解きやすかったと言える。

- 地歴・公民…今年はどうとう地理Bが地歴・公民の中で受験者数最多に躍り出た。1990年開始のセンター試験初期のころはほぼ毎年「日本史>世界史>地理」だったが、1997年の新課程を機に地理Bが世界史Bを上回り、今年、日本史Bまでも抜き去った。地理Bは地公1科目受験での受験者が圧倒的に多く、理系受験生が多く受けていると想定される。今後は国の理系拡大策で理系受験生は増えていくだろうし、さらに新課程入試になれば歴史総合(近現代の日本史と世界史の融合分野)の負担感から、より地理に流れてくる可能性もある。「地理の時代」がやってくるのかもしれない。
- 理科:共テになってから特に理科は平均点が安定しない。一昨年に得点調整が行われたばかりだが、今年再び行われた。また、生物は2年連続で過去最低の平均点を更新。調整前の平均点は39.74点で3割台という低さだった(ちなみに生物は問題ミスがあり、4点の問題で正解が1つ増えている)。得点調整は平均点がかつても高かった科目はそのまま、それ以外の科目に加点。そのため物理はそのまま、化学で最大7点、生物で最大12点の加点、地学は対象外となった。(受験者数1万人未満の科目は得点調整の対象外。)

## ●先輩の合格体験記～昨年度、大学に合格した先輩の体験記を一部抜粋して掲載しています～

東京大学文学部 (中高一貫コース卒業)	大阪大学外国語学部 (アドバンスコース卒業)	山口東京理科大学工学部 (グローバルコース卒業)
<b>【後輩へのメッセージ】</b> 特に伝えたいことが5つあります。1つ目は、質と量。どちらに比重をおくか、教科ごとや共テ・二次などで分けて考えること。2つ目は、得意科目を作ること。試験会場で安心感を得られます。3つ目は、基礎を大事にすること。難問を解けるよりも基本を落とさない方が高得点に繋がり、安定もします。4つ目は生活習慣を整えること。三食絶対に食べ、12時までには寝ましょう。5つ目は、模試の結果を気にしすぎないこと。模試は当然大事ですが、僕の東大模試判定は、D→C→Dでした。 皆さん、自分を信じて突き進んでください。応援しています。	<b>【後輩へのメッセージ】</b> 最後まで諦めないことは本当に大切だと思います。一度しかない高校生活、受験も含めて全力で楽しんでください。 <b>【こうしておけば良かったと思うこと】</b> 単語などの基礎は、1・2年生の時間があるときにきちんと身につけておけば良かったです。また、計画性がなく直前で焦ることが多かったので、自分に合ったやり方を早くから探しておくべきでした。 <b>【生活リズムで気をつけたこと】</b> 私は寝不足になると特に調子が悪く、長い睡眠が必要だったので、眠たい時は深く寝ていました。寝る前にスマホを触らないことは、徹底していました。	<b>【後輩へのメッセージ】</b> 大学に合格するために必要なことは、毎日少しでも勉強することだと思います。続けることで習慣化され、長い時間できるようになります。また、勉強だけでなく部活動やボランティア活動に挑戦してみてください。それらから多くの経験を得ることができると思います。 <b>【受験勉強を通して良かったこと】</b> 早めに対策に取り組むことができました。志望理由書や面接で話す内容をノートにまとめ、推敲を重ねたので、とても良いものができました。また、多くの先生に面接練習をしてもらったことで、本番もあまり緊張しませんでした。

## ●進路部の取組について～昨年度の取組について活動報告をします～

- ① 地元大学研究会  
 地元で学び、地元で働き、地元に貢献したいと考える生徒のための研究会です。特に志望者の多い地元の国公立大学と姉妹校の入試について研究し、志望者に対して体系的な指導をしています。各大学の校内説明会、大学生との懇談会、大学教員による出前講義、志望理由書・小論文・面接等の個別指導を実施します。
- ② 医進プロジェクト  
 医師になり社会に貢献したいという生徒の夢を実現するために、長期的な計画のもとで様々なサポートをしています。医療現場に出かける機会を設け、見学や体験、交流を通して職業観や受験を突破する強い意志を養うとともに、医療テーマについての講座を実施し、さらに小論文・面接の個人指導などのきめ細かい受験対策を行います。
- ③ 東大茶話会  
 東京大学に合格した卒業生に参加してもらい、「慶進生と東大生による茶話会」を実施しています。先輩からは、合格を実現させた勉強方法についての助言や、東京大学での学生生活についての話を聞くことができます。また、文系・理系の志望に分かれ個別の相談会を行い、多くの質問に丁寧に答えてもらえます。先輩に続けるよう、仲間とともにがんばれ、慶進生!



「地元大学研究会」説明会のようす



「病院への職場見学」のようす



「東大茶話会」のようす

**昨年度の地元大学の合格状況**  
 山口大学……………18名  
 山口県立大学……………4名  
 山口東京理科大学……………5名  
 周南公立大学……………2名  
 山口学芸大学……………9名  
 など

**昨年度の国公立大医学部の合格状況**  
 九州大学・医・医……………2名  
 岡山大学・医・医……………1名  
 山口大学・医・医……………4名

**昨年度の東京大学の合格状況**  
 東京大学・文三……………1名  
 東京大学・理二……………1名

## ●「学習計画」を立てる際のポイント

(「大学受験バズナビ;旺文社」のHP記事をもとに作成)

- 効率的な勉強のためには、「学習計画」を立てることが必須です。新年度を迎えた今だからこそ、気分一新で計画を立てましょう。
- ① 予備日を設定1週間単位で達成を目指す…1日単位ではなく1週間単位の計画を立てましょう。気分が乗ればその科目を途中でやめず集中が切れるまで続ける、気分が乗らなければ思い切って別教科の勉強に切り換える、というようにメリハリをつけましょう。日曜日を予備日(借金返済日)に設定し、週間計画通りに勉強が進めば、気分転換を図るのもいいでしょう。
  - ② 模試から逆算どの時期に何をするか…定期テストや模試から逆算し、「〇〇までに、〇〇科目の〇〇を覚える。△△までに△△分野は、問題集の△△まで進む」等、具体的な計画を立てましょう。大切なのは「いつから始めるか」ではなく、「いつまでに終わらせるか」です。記憶(インプット)する時期、整理する時期、演習(アウトプット)する時期という「見通し」を持ちましょう。
  - ③ 達成度に合わせたことを「見える化」…「計画表や手帳にチェックボックスを作り、できたら塗りつぶす」「今週やるべきことを付箋に書いて机に貼り、一つ終わるごとに付箋をはがす」など、小道具をうまく使って進み具合を「見える化」しましょう。

4月の進学スケジュール	
6日(木)	進級式
7日(金)	中学校始業式・入学式
10日(月)	高校始業式・入学式
14日(金)・15日(土)	ベネッセ総合学力記述模試(Ⅲ)
18日(火)	小論文講座(I・Ⅱ全、Ⅲ希)
22日(土)	進学ガイダンス(ⅠA)
22日(土)	進学ガイダンス(ⅠG)